

令和2年度 学校評価アンケートの集計結果について

昨年11—12月に実施をしました、令和2年度「学校評価アンケート」の集計結果につきまして、ご報告をいたします。お忙しい中、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

皆様から頂いた貴重なご意見を、今後の学校運営の中でしっかりと活かしていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

筑波大学附属大塚特別支援学校
校長 川間 健之介

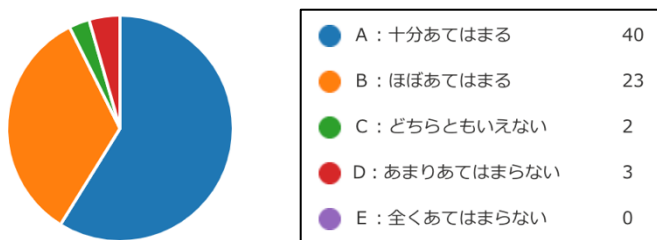
アンケートの回答数：68件（回収率91.9%）＊昨年度79.7%、一昨年度76.7%

多くの保護者のみなさまからご回答をいただきました。ありがとうございました。

いただいたご回答について、選択項目、自由記述共に集計をし、全教職員と共有をしました。その後、各教員に対するアンケート調査を通して、保護者のみなさまからいただいたご意見（よかったことや改善してほしいこと）に対する、今後のアイデアを出し合いました。選択項目、自由記述のそれぞれについての結果と次年度に向けての改善案をご報告します。

I 選択項目について

1. 【日々の教育実践】本校の授業は、幼児児童生徒が自ら取り組もうとする姿を大切にしていますか？



2. 【教員の指導・支援】教職員は明るく丁寧な対応を心がけ、幼児児童生徒一人一人の学びを大切にされた指導や支援にあたっていますか？



3.【家庭への情報発信】学校における幼児児童生徒の様子が、十分に家庭に伝わっていますか？



● A：十分あてはまる	34
● B：ほぼあてはまる	25
● C：どちらともいえない	5
● D：あまりあてはまらない	4
● E：全くあてはまらない	0

4.【地域社会への情報発信】教育実践から得られた知見や成果を、広く地域社会に発信していると思いますか？



● A：十分あてはまる	16
● B：ほぼあてはまる	28
● C：どちらともいえない	21
● D：あまりあてはまらない	2
● E：全くあてはまらない	1

5.【安全】感染症対策を含めて、学校内における安全が、十分に守られていますか？



● A：十分あてはまる	35
● B：ほぼあてはまる	24
● C：どちらともいえない	8
● D：あまりあてはまらない	1
● E：全くあてはまらない	0

6.【環境美化】教職員は、校舎内外の環境の整備と美化に努めていますか？



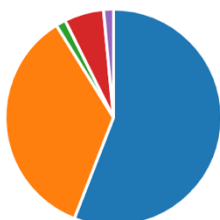
● A：十分あてはまる	31
● B：ほぼあてはまる	30
● C：どちらともいえない	7
● D：あまりあてはまらない	0
● E：全くあてはまらない	0

7. 【学校行事】 学校行事は、感染症対策を講じながら、幼児児童生徒の学習の良い発表の場になっていますか？



● A：十分あてはまる	34
● B：ほぼあてはまる	24
● C：どちらともいえない	8
● D：あまりあてはまらない	0
● E：全くあてはまらない	2

8. 【家庭連携】 お子さんの教育方針について、学校と十分に連携ができていますか？



● A：十分あてはまる	38
● B：ほぼあてはまる	24
● C：どちらともいえない	1
● D：あまりあてはまらない	4
● E：全くあてはまらない	1

9. 【個別の指導計画と授業】 個別の指導計画に基づく、お子さんの教育的なニーズ（重点目標）が、授業の内容に十分反映されていると思いますか？



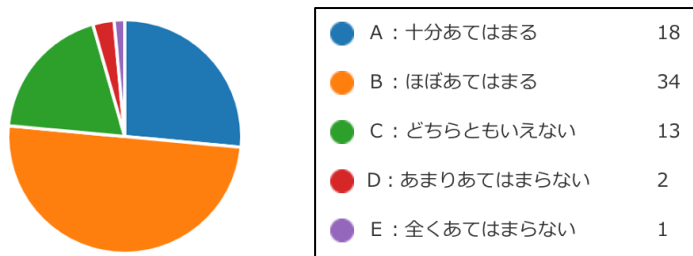
● A：十分あてはまる	33
● B：ほぼあてはまる	28
● C：どちらともいえない	6
● D：あまりあてはまらない	1
● E：全くあてはまらない	0

10. 【個別の教育支援計画と連携】 個別の教育支援計画を基に、ご家庭のニーズに合った関連機関（通園先,交流校,現場実習先,放課後デイ,療育等）との連携がされていると思いますか？



● A：十分あてはまる	16
● B：ほぼあてはまる	20
● C：どちらともいえない	21
● D：あまりあてはまらない	8
● E：全くあてはまらない	3

11. 【共生社会に向けての取り組み】本校は、(例えば子育て広場、交流学習、ライフキャリア学習、現職教員や企業のための研修活動など) 障害の理解啓発等に関する地域社会貢献の取り組みを十分に行っていると思いますか？



<選択項目のまとめ>

選択項目の多くで、「A:十分あてはまる」、「B:ほぼあてはまる」とご回答をいただきました。その一方で、4.【地域社会への情報発信】、10.【個別の教育支援計画と連携】、11.【共生社会に向けての取り組み】については、「C:どちらともいえない」、「D:あまりあてはまらない」、「E:全くあてはまらない」のご回答が、合計で2割から4割程度ありました。

<次年度に向けて>

4. 【地域社会への情報発信】について

今年度も教材・教具の開発、オンライン授業の取り組み、海外学校との連携支援などに関して書籍の執筆や、雑誌等への実践の投稿を行い、積極的な情報発信をしてきました。詳しくは玄関正面の掲示板に「実践のご紹介」として掲示をしておりますので、ご覧ください。またICTの実践については、ホームページに「大塚特支のICTいかがですか?」というページを新たに立ち上げ、今年度の各部の取り組みを対談形式で掲載しました。様々な方法による情報発信を継続して行い、今後も附属大塚の取り組みを地域社会に広める努力をしていきます。

10. 【個別の教育支援計画と連携】について

家庭や地域における教育ニーズは、一人一人異なり、とても多様になってきています。また、地域における関連機関でも個別の支援計画等が作成されています。これまで以上に、保護者(および幼児児童生徒)のみならず、情報の共有が大切になっています。個別の教育支援計画(計画書)について、書式を検討しながら、共に作成や修正ができるような取り組みを引き続き行います。また、個別の教育支援計画を作成する目的や記載する内容について、改めて保護者のみなさまにご説明をする機会を設け、共に理解を深めていきます。

11. 【共生社会に向けての取り組み】について

今年度、交流および共同学習(附属学校等との交流活動など)についても、コロナウィルス感染症による制約を大きく受けました。しかし、ICT(Zoom、動画等)の活用を始め、各部で新たな交流活動の方法を工夫して行えたことは成果の一つです。こうした取り組みを記録として残し、次年度、計画的に進められるように活用をします。

Ⅱ. 自由記述について

自由記述では、上記の選択項目を含めて、「今年度の取り組みで良かったこと」、「改善してほしいこと」「その他、ご要望等」をご回答いただきました。いただいた多くのご回答を大きく6点に集約し、今後の改善案と併せてご報告します。

(1)感染症対策について、「感染予防の徹底した対策が良かった。」「健康の記録や登校時の検温を実施し、十分に守られていると思う。」などのご回答が多く見られました。今年度の取り組みに対して、多くのみなさまからご理解をいただけたと考えます。その一方で、マスクの着用等に関して、さらに授業等でも取り組んで欲しいというご意見もありました。

マスクの着用に関しては、今年度も幼児児童生徒の生活年齢や実態に応じて、各学部や個別に取り組みを行ってきました。またマスクに替わる感染対策グッズの活用や、マスクをつけられないことを意思表示するグッズの活用などを含めて、今後も引き続き取り組みます。また、教室環境や活動設定の工夫といった学校生活での感染症対策も、継続します。引き続き保護者のみなさまにもご理解とご協力をお願いいたします。

(2)オンライン授業（Zoom,動画配信等）の取り組みに対して、「自粛生活の中、子供にとって楽しみのひとつになっていた。」「子供が学ぶ機会を得られた。」「先生方、お友達との繋がりを実感できた。」というご意見が最も多かったです。また今後も対面の授業と併せて、オンライン授業の実施も期待されています。その一方で、授業参観など、幼児児童生徒の学習の様子を直接見て、担任とやりとりする機会が少なかったというご意見もありました。

オンライン授業については、今年度、一定の成果を挙げた一方で、物を介した授業を行うことが難しい、対面授業と上手くバランスを取ることが難しいといった課題も挙がっています。対面授業、オンライン授業、双方の良さや限界をふまえた上で、今年度の取り組みを参考にしながら、次年度の授業を計画し、実施していきます。また授業参観については、オンライン等の活用も含めて開催方法を工夫すること、感染状況を踏まえながら段階的な開催を検討することにより、計画的な実施ができるよう改善をします。

(3)行事について、開催内容や方法を工夫しながら、大塚祭、宿泊学習等の行事を行ったことについて良かったというご意見をいただきました。その一方で、運動会や遠足といった今年度開催できなかった行事について、感染予防を最優先した上での開催のご要望もいただきました。

今年度の行事の取り組みを記録に残し、今年度行ったような新しい様式での開催方法を踏まえて検討をしていきます。その際、行事における体験的活動の重要性と感染症のリスクを鑑みながら検討を行います。なお、幼児児童生徒、および保護者のみなさまに対するご説明も丁寧に行っていきます。

(4)地域貢献や地域連携について、「クラウドファンディング」、「えがおカフェ」、「スポーツ交流」、「リサイクル活動」、といった活動について、良かったというご回答を多くいただきました。

地域に出向いていくことが難しい状況の中で、可能な範囲での地域貢献や地域連携に取り組んできました。こうした取り組みを、学校だよりやホームページ等でも発信し、より多くの人に伝えたいと考えます。

(5)校内環境の整備について、「空気清浄機の設置」や「消毒等を行う職員の増員」といった、具体的な環境整備のアイデアをいただきました。

今年度、各学級に加湿器およびサーキュレーターが新たに設置をされました。また特別教室を含む教室内の清掃や消毒は、ガイドラインに基づきながら、教職員が役割分担をしております。今後も、継続をして行います。また併せて、より安心安全な校内環境を今後も整えていきます。

(6)保護者のみなさまへの情報伝達について、今年度保護者用ホームページや学部のメーリングリストを作成したことにより「丁寧に伝えてもらっている。」というご意見をいただいております。一方で、日程や活動等の変更については、「早めに知らせてほしい。」「一方的な協力の要請ではなく、全ての保護者への説明を充分にしてほしい。」といった、丁寧な説明や速やかな連絡について、ご意見をいただきました。

今年度、新型コロナウイルス感染症対策によるさまざまな計画の変更に伴い、十分なお説明や迅速なお連絡ができなかったことについて、真摯に受け止め、改善をしていきたいと考えます。書面に加えて、保護者用ホームページ、一斉メール等も活用をした情報発信、オンライン（Zoom,動画配信）を活用した説明会の実施など、保護者のみなさまと円滑に情報を共有できる工夫を引き続き行います。